



QCCダイジェストin福井

2026年度
QCサークル春季研修会 号

開催日：2026年 6月 5日（金）

発行元：QCサークル北陸支部福井地区事務局



春季QCサークル研修会開催

●2026年度QCサークル春季研修会が、6月5日(金) に福井市きらら館にて開催されました。今年度は福井地区の企業14社 100名の方が受講され、地区役員・幹事31名によって運営されました。はじめに、福井地区鍋谷地区長代理より「本日の研修はQCサークル活動の基本を学ぶ場であると同時に、皆さ一人ひとりが「品質とは何か」「質の高い仕事とは何か」を改めて考える機会でもあります。QC活動は決して一部の人だけが行うものではなく、現場で働く一人ひとりの気づきと行動の積み重ねが、結果として大きな品質向上につながります。本日学んでいただいた内容をぜひ自部門へ持ち帰り、日々の業務の中で一つでも実勢していただくことを記載しています。」と挨拶を述べました。その後、総合司会より当日の注意事項などが伝えられ、各コース会場に分かれての研修が始まりました。



開会挨拶：鍋谷地区長代理
フクビ化学工業(株)



開会式 開会挨拶を聴く
受講者のみなさん

開催コースについて

- 【初級コース】 品質管理・QC7つ道具の概要を理解し、与えられたテーマからパレート図と特性要因図を作成し対策案までまとめる
- 【中級コース】 ジグソーパズルを使いQC的問題解決手順に沿って特性要因図の重要要因から検証を行い、真因に関して系統図を作成し、対策の効果確認を行う実践型研修

今回ご参加頂いた企業（順不同）

揚原織物工業株式会社	株式会社日本ピーエス
株式会社TOKO	株式会社TOP
株式会社アイシン福井	株式会社共栄電子
株式会社日本エー・エム・シー	清川メッキ工業株式会社
サカイオーベックス株式会社	信越化学工業株式会社
日華化学株式会社	日本ゼオン株式会社
フクビ化学工業株式会社	株式会社アイシン福井・若狭

多数のご参加、
ありがとうございました！



問題解決型QCストーリー 初級コース

初級コースでは、63名がQCサークルの基本について講義形式で学んだ後、9グループに分かれ、与えられたテーマに対しパレート図と特性要因図を作成して、対策案までをまとめました。



講師：勘山副世話人
(株)アイシン福井



講師：笠原幹事
清川メッキ工業(株)

グループでの特性要因図の作成では、どのグループの参加者も積極的に意見を出し、活発な議論がなされていました。

冒頭の「データの取り方とめ方」では、参加者同士が質問し合ってデータ取りを行い、会場の緊張がほぐれていきました。講義では、「品質管理の基本」や「QCサークル活動の基本」と、QCストーリーのステップに沿った説明に対し、参加者の皆さんは熱心に耳を傾けていました。



データ取り実習



その後各グループとも力を合わせて対策をまとめ上げ、個性あふれる成果発表を行い、最後に世話人から講評を交え、一人一人に受講証が手渡されました。



成果発表



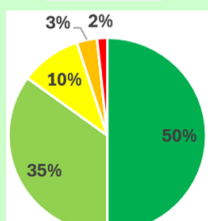
講評：小林副世話人
(株)アイシン福井

参加者からの声

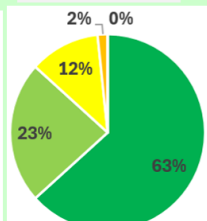
「最初は緊張していましたが、とても発言しやすく、楽しい研修になりました。」N社 N様
「他業種の方とグループを組むことで自社にはない考えや共感できるところも分かりとてもいい体験ができました。」N社 H様
「とても分かりやすく、グループワークが楽しくて、頭に入りやすかったです。」A社 M様

初級コースアンケート：理解度 n=60

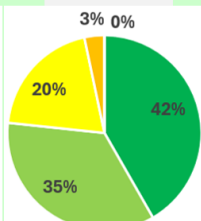
全体的な
演習内容



パレート図の
作り方・使い方



特性要因図
の手法



問題解決型QCストーリー 中級コース

中級コースでは、QC7つ道具の中でも特に特性要因図と系統図の作成手順について講義で学び、ジグソーパズルを使いながら、問題解決型のQCストーリーに沿ってQCサークル活動を実践していきました。

このコースには、実際に自社のQCサークルの第一線で活動している方など、37名の方に受講していただきました。



講師：池上幹事
日華化学(株)



アイスブレイク

講義後は6グループに分かれ、制限時間15分で1回目のパズル作成を行い、完成したピースの数を数え、目標値の設定をしました。パズルをもっと早く完成させるために、グループごとにうまくいかなかった要因を整理して、真の要因を探し出すべく検証を行い、系統図を活用しながら改善策を深掘りして対策案を検討しました。その後、これらの対策案に基づき対策を実施し、2回目のパズルの作成を行いました。



今回の成果発表はiPadを用いた投影に変更し、コピーを取って配布していた作成資料もデータで出席者の会社へ送付と、デジタル化（紙削減）を実施しました。



講評：小川副世話人
セーレン(株)



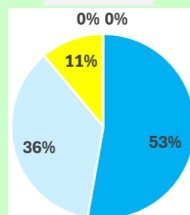
グループディスカッション

参加者からの声

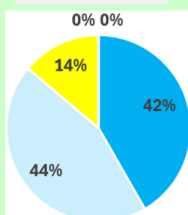
「QCストーリーについて理解を深めることができた。会社の垣根を超えて様々な方と意見を交換することができ、とても有意義な時間を過ごすことができた。」K社 O様

中級コースアンケート：理解度 n=36

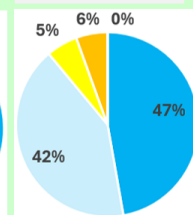
全体的な
演習内容



要因の絞り込み、
要因の検証



系統図+マトリックス図の
作り方・使い方



■ 理解できた ■ ほぼ理解できた ■ ある程度理解できた ■ あまり理解できなかった ■ 理解できなかった